

平成25年度

# 安全報告書



岩手開発鉄道株式会社

みんなと共に  
がんばろう! 東北 

## 1. 経営責任者からのメッセージ

皆様には、平素の岩手開発鉄道安全運行にご理解を賜り誠に有難うございます。  
これからも沿線地域の皆様をはじめとして、関係の皆様のご理解とご協力を賜りながら  
安全な鉄道運行に努めてまいりますので宜しくお願い致します。

岩手開発鉄道では、鉄道の運行のみならず、従業員、沿線住民の皆様の安全を実現  
するために、社員一丸となって日常の安定・安全運転を心掛けております。そのために  
私共は様々な取り組みを行っており、この報告はそれらの実施内容、今後の取り組み等  
を記したものです。

この報告書は、鉄道事業法に基づき皆様に公表し、広くお気付きやご意見を賜り、さ  
らに一層の安全確保に資することを目的としております。つきましては、皆様のお気付  
き、ご意見、ご助言等を頂ければ幸甚です。

岩手開発鉄道株式会社

代表取締役社長 柳 田 英 輝

## 2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

鉄道事業法など関係法令並びに輸送の安全を確保するために社内で定めた安全管理規程及び基準を遵守し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ることとしております。安全に係る行動規範は、安全綱領に定める次の通りとする。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速に、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に安全意識を持ち、必要な変革に挑戦する。

### 3. 輸送の実態

弊社は、昭和14年に産業振興と沿線地域の開発を目的に創立され、第二次世界大戦で工事の中断を経て昭和25年営業を開始しました。昭和36年からは現在の基となる石灰石輸送も開始され、旅客部門・貨物輸送部門とが両輪となり地域の振興に寄与してまいりました。しかし、旅客数の減少に伴い平成4年には旅客営業を廃止し貨物輸送専用鉄道となり、セメント原料である石灰石輸送を担っております。

現在、災害復旧復興事業等に伴うセメント需要の増加により、当社における石灰石輸送も震災以前の水準以上となり、復旧・復興のスピードを感じています。今後も鉄道輸送の使命である「安全・安定・安心」をさらに追及し、弊社事業が復興の一助となっていることを確信し、全職員一丸となってその使命を果たしてまいります。

直近5ヶ年の石灰石輸送量実績

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
上期計	878,850	982,170	0	771,120	1,045,800
下期計	887,670	977,760	412,615	945,630	1,190,700
年度計	1,766,520	1,959,930	412,615	1,716,750	2,236,500

(単位：トン)



## 4. 会社方針（安全方針）と安全衛生管理目標

安全と健康は企業活動の基礎であり、「安全第一」を最優先させた活動を実施・展開していく。明るく活気ある、顧客・地域から信頼される企業は、安全と健康から作り出されるもので、そのために十分な話し合い・検討を行い、全社一丸となる風通しの良い職場を目指していく。

### 【会社方針（安全方針）】

スローガン

「一人ひとりが安全第一を実践し、  
皆で協力し技能・技術の伝承・向上に取り組もう」

方針

- ①本質安全・健康の向上 . . . . . 諸規定の厳守による安定輸送の推進  
リスクアセスメントの推進  
指差喚呼、KY、ヒヤリハット摘出運動の強化
- ②企業体質の強化 . . . . . 技能・技術の確実な伝承と向上  
運輸安全マネジメントの取組強化  
受注業務への積極的取組

### 【安全衛生管理目標】

- 1. 労働災害・交通災害「ゼロ」とする（不休災害含む）
- 2. 疾病長期休業「ゼロ」とする（長期休業：5日以上）
- 3. 自主健康管理目標の設置及び実践

（重点実施事項）

- 1. リスクアセスメント及びKY・ヒヤリハット運動の推進
- 2. 報・連・相の徹底
- 3. 交通安全運動の推進
- 4. 健康管理の徹底

## 5. 設備等の主な整備状況

### (1) 平成25年度整備事業

1. 貨車扉開閉機構の強化（ウォームギヤ、モーター）
2. 超音波探傷器購入（車軸探傷）
3. 機関車庫シャッター更新（老朽化）
4. 土木構造物修繕工事（陸橋、橋梁）
5. 軌道検測工事
6. 災害復旧工事（豪雨による土砂崩落、斜面整備）
7. 貨車開閉扉交換（老朽化）
8. 機関車排煙対策関連工事
9. 信号灯更新
10. 小型油圧ミニショベル購入（土木作業用）

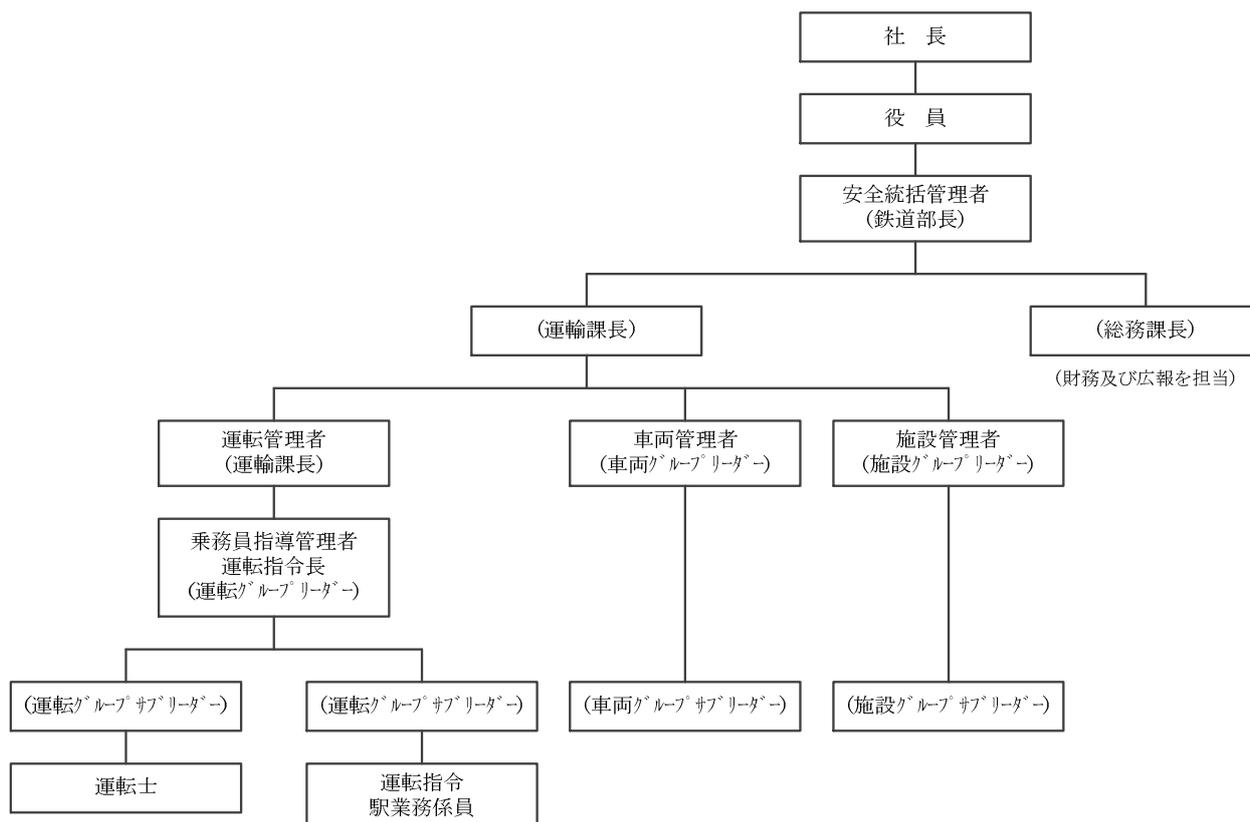
### (2) 今後の整備事業

1. トンネル漏水対策工事
2. 構造物修繕工事（橋梁他）
3. 落石防護網設置工事
4. 貨車自動連結器更新
5. 信号・通信ケーブル更新
6. 貨車扉開閉機構の強化（ウォームギヤ、モーター）
7. 貨車開閉扉交換（老朽化）
8. 軌道検測工事

## 6. 安全管理体制

### (1) 安全管理体制

当社の安全管理体制は下記のとおりです。この組織の中で示す各管理者の責務は安全管理規程で明確に定められており、それを実行することで安全輸送を確実なものとしています。



## (2) 各管理者の責務

各管理者の輸送の安全に係る責務は次のとおりです。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄 道 部 長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 輸 課 長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
総 務 課 長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転グループリーダー (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設グループリーダー (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両グループリーダー (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

## (3) 安全管理・安全活動の実施状況

### ① トップによるコミュニケーション

朝礼、個別ヒアリング、現場での定例会議（業務研究会等）に参加する等現場とのコミュニケーションに努めております。

### ② 安全衛生委員会

社長をトップに、安全統括管理者、衛生管理者、安全教育担当、グループリーダー、組合執行委員がメンバーとなり毎月定例会議を開催し、リスクアセスメント、ヒヤリハット、輸送障害、自然災害、車両故障、踏切障害、信号障害等の原因究明、緊急対策、恒久対策等を検討し、再発防止に努めております。

### ③ 異常時における連絡体制

鉄道運転事故及び自然災害などに備え、異常時の連絡体制を構築しています。また、今年度は自然災害（土砂災害）発生により異常時想定訓練を実施することが出来ませんでした。様々な想定リスクについて考える機会を設けるなど、職員への事故及び災害に関する意識レベルの向上が図られております。

#### ④パトロールの実施

年間指導計画書に基づき、社長、安全統括管理者、衛生管理者、安全教育担当、グループリーダー、組合執行委員により各施設、職場の巡視を行い安全の確保と衛生の改善に取り組んでおります。

#### ⑤職場における安全活動

各職場では、月例点検（設備の定期点検）、業務研究会を毎月開催し、日常の懸案事項についての討議や学習会を実施し、安全レベル向上を図っています。また、運輸安全マネジメントの実践状況のチェック及びシステムの問題点についても討議し、改善を行っております。年に1度は内部監査を行い、実施状況をチェックし改善に結びつけています。

#### ⑥事故防止対策の取組み

- ・年間指導訓練計画による教育指導訓練の実施（各所ごと）
- ・鉄道関連事故情報の横展開による全職員への周知、注意喚起の実施
- ・関係他社の事故・災害関連情報の横展開による全職員への周知、注意喚起の実施
- ・安全衛生関係行事計画による各種安全衛生活動の実施
- ・安全運転強調運動の一環として、運転考査を実施し、係員の知識確認実施
- ・安全運転強調運動の一環として、適性検査を実施し、係員の適性確認実施
- ・各種行事及び定期的に現場パトロール、列車添乗点検及びフォローの実施
- ・リスクアセスメントの推進（研修会実施）
- ・運輸安全マネジメントの取組み(内部監査実施、ヒヤリハット情報の収集・活用)
- ・沿線清掃活動の実施



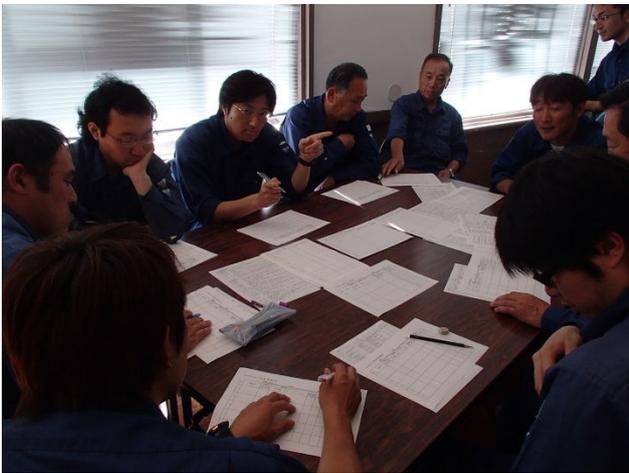
社内リスクアセスメント教育・研修会



安全大会：社長安全訓話



安全大会：安全表彰



社内リスクアセスメント教育・研修会



沿線清掃活動

## 7. 地域住民の皆様との連携

弊社は、セメント原料である石灰石の輸送を担っており、列車の組成は牽引の内燃機関車と18両連結のホッパー車で組成されております。営業キロは、11.5キロメートルで、25%勾配が4割ほどあります。また、営業キロからみると踏切度数が高くなっております。沿線地域住民の皆様方におかれましては、騒音、振動、悪臭等少なからずご迷惑をお掛けしていることをお詫びするとともに、ご理解とご協力を賜りたく存じます。今後も、無事故運転を継続するとともに、地域振興に寄与する鉄道、地域の皆様方とともに生きる鉄道としてその使命を果たすべく、より一層の精進に努める所存でございます。

(主な活動)

- ・ 沿線小学校への鉄道事故防止の啓蒙活動
- ・ 定期的な踏切街頭指導・啓蒙活動
- ・ 沿線住民へのチラシ配布
- ・ 3つの鉄道会社（三陸鉄道様、JR東日本様、弊社）の共催で実施する「3鉄まつり」における、地域住民の皆様との交流



ご意見・ご要望をお持ちの場合は、

下記の窓口までお寄せいただければ幸いに存じます。

### お客様ご案内窓口

岩手開発鉄道株式会社 地域住民ご案内窓口

TEL 0192-26-3127 FAX 0192-25-0666

E-Mail [info@kaihatsu-railway.co.jp](mailto:info@kaihatsu-railway.co.jp)